

フジタのFuji-ta緑化システム™

特許庁長官賞受賞の快挙



中央が藤田代表

屋上緑化や法面緑化に革命をもたらす「常緑キリンソウ袋方式」で、これまで数多くの採用実績を持つ㈱フジタ（岩美郡岩美町岩常三六〇、藤田豊博代表取締役）。

同社の「苗床および苗床を用いた緑化システム」が昨年10月17日、(公社)発明協会が主催する「令和5年度中国地方発明表彰」において、最高賞の文部科学大臣表彰に次ぐ、特許庁長官賞を受賞した。大手企業ら並みいる受賞企業が並ぶ中での快挙。鳥取県が関係する企業の同賞受賞は実に12年ぶり。

㈱フジタは昭和63年設立。環境緑化植物の開発・製造などを手掛ける中で、十数年ほど前、品種改良を施した常緑キリンソウと、培養土や緑化植物の苗を植えるための特注フラスナーを使用した苗床を開発。

地道な営業活動を重ね、主に都市部の商業施設やオフィスビル、マンション、教育施設など700件以上の採用実績をもつ。

昨年9月1日には、テレビ東京系列「ガイアの夜明け」で取り上げられ、問合せが増加。また、2019年頃から毎年、米国からの農業研修生を受け入れていた縁もあり、今年から海外展開を本格化させる予定も。

「あまりに大きな賞をいただき、驚いている」と藤田代表。12月27日には、同社藤田代表と営業担当の藤田大地氏が平井伸治知事を表敬訪問し、受賞を報告した。

藤田代表は同社の「Fuji-ta緑化システム™」について説明。近年の全国的なゲリラ

豪雨の頻発を受けて新たに開発された、吸水から排水までを時間差で行う事により、水害対策に資する「SHUDO/RAIN」や、昨今の猛暑や価格高騰による電気代の抑制にも貢献しようとして、工場などの屋内温度を下げるべく、折版屋根に合う細長いタイプなど、今後の事業展開も含めて説明を行った。

説明を受け平井知事は「県としてもこの数年、フジタの技術に注目してきた。まずはこのような方式を編み出した着眼点がすごい。ヒートアイランド現象抑制、CO2排出量削減、電気代などのコスト削減に資する上、海外にも需要があるという。将来的には岩美町から全国へ。そして世界標準の一つとなり得る商品」と今後に期待を示した。

トリベイ エネオスランドリー 津山オープン

㈱トリベイ（鳥取市吉方温泉三一一〇六、縫谷吉彦代表取締役社長）は12月15日、エネオスランドリー津山をオープンした。

既存のコンビニエンスストア併設のガソリンスタンド



WiFi完備で待ち時間も充実

ENEOS Eneret津山高野SS（岡山県津山市高野本郷一六七七一）の敷地内に鉄骨造平屋建70平米の店舗を新築。

洗濯乾燥機3サイズ計6台を設置。大型サイズも導入し、布団等にも対応する。そのほか乾燥機2サイズ計7台とスニーカー洗濯機と乾燥機を一台ずつ設置している。

営業時間は24時間営業で、クレジットカード、エディ、ナナコ、スイカ等のキャッシュレス決済対応。WiFiも完備。

「コインランドリー設置で給油、買い物、洗濯がワンストップで可能になる。お客様の利便性向上につながれば」と縫谷社長。

同社では、地域にとってのプラスとなるものを取り入れていきたいという方針のもと、今回のオープンとなった。今後も新しい取り組みを継続して検討していくとしている。